

令和 7 年度（2025 年度）

高崎市第 5 次男女共同参画計画
令和 6 年度推進状況評価報告書

高崎市男女共同参画審議会

高崎市市民部人権男女共同参画課

はじめに

本市は、男女共同参画社会の実現を目指して、平成13年に男女共同参画計画、平成20年に第2次男女共同参画計画、平成25年に第3次男女共同参画計画、平成30年に第4次男女共同参画計画を策定し、男女共同参画の施策を積極的に推進してきました。その後、令和5年には、社会情勢の変化に伴う新たな課題に対応するために計画を見直し、令和9年度までを計画期間とする第5次男女共同参画計画を策定して取組を進めています。

この第5次男女共同参画計画を着実に推進し、その効果を上げていくためには、毎年度の計画の推進状況を把握、その効果を評価し、結果に基づく見直しを行うなど、綿密な進行管理が必要となります。そのため、本市では各施策担当課がそれぞれの実施状況を自己評価し、その結果を男女共同参画審議会が分析して計画の推進状況を総合的に評価するとともに、各施策に更なる男女共同参画の視点を加えることができるよう、改善策を提言するという進行管理の体制を構築しています。このような、より客観的な立場での評価を導入することにより、施策を効果的に推進していくことができるものと考えています。

本報告書は、男女共同参画審議会による令和6年度の計画の推進状況についての評価をとりまとめたものです。

本市は、この評価結果を活かし、男女共同参画社会の実現に向けて一層の取組を進めていきます。

令和8年2月

高崎市市民部人権男女共同参画課

目次

I	第5次男女共同参画計画進行管理の概要	1
II	令和6年度の推進状況の評価結果	5
	資料	8

I 第5次男女共同参画計画進行管理の概要

1 進行管理・評価の概要

高崎市第5次男女共同参画計画を推進し着実に効果を上げるため、以下のように進行管理及び評価を行う。

(1) 計画登載施策の進行管理と評価（進行管理シートによる＝別紙1）

①施策ごとに「施策の成果をはかる指標」と「目標値」を設定する。〈計画開始時〉

* 目標値・・・計画終了時に達成可能なもので、数値または状態を設定する。

- ・数値（〇人、〇回、〇件、〇%、〇割など）
- ・状態（増加、減少、現状維持、継続実施など）

②施策担当課が、次の事項を進行管理シートに記入する。〈毎年度（事業終了翌年度）〉

- ・成果をはかる指標についての実績値
- ・施策の実施状況等
- ・施策担当課による自己評価とその理由

③審議会部会において、施策ごとの実施状況の評価及び、基本目標ごとの進捗状況の評価を行う。〈毎年度（事業終了翌年度）〉

* 審議会のコメントは、評価結果に基づく必要な見直し事項などを提言するが、あくまで男女共同参画推進の観点から行うものであり、各施策の進展に対する期待を示すもの。

(2) 計画指標項目の目標値達成度評価

①計画に登載された15の指標項目のうち、「審議会等附属機関の女性委員登用割合」、「市役所における管理職に占める女性職員の割合（課長職以上）」、「市役所における管理職に占める女性職員の割合（係長職以上）」、「市役所の男性職員の育児休業の取得率」の4指標は、計画登載施策の管理の一環として、毎年、現状値を把握する。

②「農業委員に占める女性の割合」については、3年毎の任期開始時（令和8年度）に現状値を把握する。

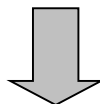
③その他の指標項目の目標値は、令和8年度に実施する「男女共同参画に関する市民意識調査」によって、現状値を把握する。

(3) 年次推進状況評価報告書の作成・公表

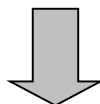
計画登載施策の実施状況評価結果を踏まえた基本目標ごとの進捗状況評価及び、計画指標項目の達成度評価などに基づき、計画全体の推進状況評価報告書を作成し、市ホームページ等で公表する。

2 進行管理及び評価の行程

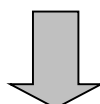
段 階	内 容	実施主体
「終了段階」 翌年度 5～6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進行管理シートに、実績値、施策の実施状況等及び自己評価とその理由を記入。 	施策担当課



段 階	内 容	実施主体
「分析評価段階」 進行管理シート 作成後の 7～11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進行管理シートの分析等を行い、施策の評価結果とコメントを記入。 ・ 施策ごとの実施状況評価結果に基づき、基本目標ごとの進捗状況を評価。 ・ 指標項目の目標値達成度を評価。 ・ 基本目標ごとの進捗状況評価、計画指標項目の達成度評価などに基づき、計画全体の進捗状況について評価。 	審議会部会



段 階	内 容	実施主体
「総合評価段階」 分析評価後の 12～3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価結果や提言についての最終調整。 ・ 施策ごとの実施状況評価に基づき、施策の担当課へ見直しなどの提言。 ・ 第 5 次計画推進状況評価報告書（年次評価） 	審議会



施策へのフィードバック

3 評価の基準及び評価の表記

(1) 計画掲載施策の実施状況評価

計画掲載施策の実施状況評価については、「施策の成果をはかる指標」の目標値との比較や、指標では表現されない成果や効果などの施策の実施状況を勘案し、以下の4段階で表記する。

評価の基準（「施策の成果をはかる指標について」）	評価の表記
施策の実施状況が良好で、「施策の成果をはかる指標」の実績値が目標の達成に向けて順調に進展している。もしくは、目標を達成した。	順調である
施策を実施し、「施策の成果をはかる指標」の実績値が目標に向けて進展している。	概ね順調である
施策を実施したが、「施策の成果をはかる指標」の実績値が目標に向けてあまり進展していない。	不十分である
施策を実施できなかった。もしくは実施したが、「施策の成果をはかる指標」の実績値が基準値に比べて後退した。	後退している

(2) 基本目標ごとの進捗状況評価

計画を構成する基本目標Ⅰ～Ⅲの進捗状況評価については、計画掲載施策の実施状況評価の結果に基づき、以下の3段階で表記する。

評価の基準	評価の表記
基本目標を構成する施策のうち、「概ね順調である」以上の評価の割合が50%以上であり、「後退している」施策を含まない。	進捗している
基本目標を構成する施策のうち、「概ね順調である」以上の評価の割合が30%以上である。	概ね進捗している
基本目標を構成する施策のうち、「概ね順調である」以上の評価の割合が30%未満である。	進捗していない

(3) 指標項目の目標値達成度評価

計画に搭載された15の指標項目の目標値達成度評価については、以下の方法により算出した「目標値達成度」により、4段階で表記する。

$$\text{【 目標値達成度（％）＝（現状値－基準値）／（目標値－基準値）×100 】}$$

目標値達成度（％）	評価	評価の表記
75%以上	目標値の達成に向け、順調に推移している。	A
50%以上～ 75%未満	目標値の達成に向け、概ね順調に推移している。	B
25%以上～ 50%未満	目標値の達成に向け、あまり順調に推移していない。	C
25%未満	目標値の達成に向け、推移していない。	D

(4) 計画全体の推進状況の評価

施策ごとの実施状況の評価結果、それに基づく基本目標Ⅰ～Ⅲの進捗状況の評価結果、そして指標項目の目標値達成度の評価結果を交え、総合評価として計画全体の推進状況进行评估する。

Ⅱ 令和6年度の推進状況の評価結果

1 評価の結果

男女共同参画審議会による計画全体の推進状況の評価について、その根拠となる計画掲載施策の実施状況の評価結果を踏まえた基本目標ごとの進捗状況評価と指標項目の目標値達成度評価を以下に記載する。

なお、個別の施策の評価結果については、「高崎市第5次男女共同参画計画進行管理シート評価一覧」（別紙2）を参照されたい。

(1) 男女共同参画審議会による基本目標ごとの進捗状況評価

基本目標	男女共同参画審議会による評価			
Ⅰ 男女平等の意識づくり	進捗している	順調である	2 施策	100.0%
		概ね順調である	12 施策	
		不十分である	0 施策	
		後退している	0 施策	
Ⅱ 男女共同参画による社会づくり	進捗している	順調である	5 施策	97.4%
		概ね順調である	33 施策	
		不十分である	1 施策	
		後退している	0 施策	
Ⅲ 安心して暮らせる環境づくり	進捗している	順調である	6 施策	100.0%
		概ね順調である	8 施策	
		不十分である	0 施策	
		後退している	0 施策	

(2) 指標項目の評価

計画に登載した15の指標項目のうち、市民の意識・認知度に関わる10項目については、令和8年度実施の市民アンケート調査により、「農業委員に占める女性の割合」は、令和8年度の改選結果により目標値の達成度を確認し評価を行う。

そのため、本年度は「審議会等附属機関の女性委員登用割合」、「市役所における管理職に占める女性職員の割合（課長職以上）」、「市役所における管理職に占める女性職員の割合（係長職以上）」、「市役所の男性職員の育児休業の取得率」の4項目について評価を行った。

基本目標Ⅰ 男女平等の意識づくり

指標項目	基準値 (年度)	目標値 (年度)	現状値 (目標値達成度)
① 「男女共同参画社会」の認知度	31.6% (R3)	50% (R8)	
② 家庭生活中、男女の地位が平等となっていると思う人の割合	28.9% (R3)	40% (R8)	
③ 職場で、男女の地位が平等となっていると思う人の割合	24.3% (R3)	40% (R8)	
④ 「夫は仕事をし、妻は家庭を守るべきである」という固定的な性別役割分担の考えに反対の人の割合 (注)「どちらかといえば反対」を含む	66.6% (R3)	75% (R8)	

基本目標Ⅱ 男女共同参画による社会づくり

指標項目	基準値 (年度)	目標値 (年度)	現状値 (目標値達成度)
⑤ 夫婦が同じくらい子育てを担っている家庭の割合	26.9% (R3)	40% (R8)	
⑥ 「男性は育児休業や介護休業を利用しにくい慣習や雰囲気がある」と思う人の割合	30.9% (R3)	20% (R8)	
⑦ 審議会等附属機関の女性委員登用割合	30.2% (R3)	40% (R9)	30.8% (6.1%) D
⑧ 農業委員に占める女性の割合	16.7% (R4)	24% (R8)	
⑨ 市役所における管理職に占める女性職員の割合 (課長職以上)	10.6% (R4)	17% (R8)	13.0% (37.5%) C
⑩ 市役所における管理職に占める女性職員の割合 (係長職以上)	21.0% (R4)	30% (R8)	22.8% (20.0%) D
⑪ 市役所の男性職員の育児休業の取得率	18.2% (R3)	100% (R7)	103.9% (104.8%) A

基本目標Ⅲ 安心して暮らせる環境づくり

指標項目	基準値 (年度)	目標値 (年度)	現状値 (目標値達成度)
⑫ 恋人やパートナーなど親密な関係にある人からの暴力の被害経験割合 (全体値)	25.3% (R3)	13% (R8)	
⑬ 恋人やパートナーなど親密な関係にある人への暴力の加害経験割合 (全体値)	11.3% (R3)	7% (R8)	
⑭ 「高崎市 DV 電話相談」の認知度	24.2% (R3)	40% (R8)	
⑮ 恋人やパートナーなど親密な関係にある人からの暴力の被害経験のうちどこ (だれ)にも相談しなかった人の割合 (全体値)	59.1% (R3)	30% (R8)	

(3) 男女共同参画審議会による計画全体の推進状況の評価

計画に登載された施策の実施状況については、ワーク・ライフバランスの推進や柔軟な働き方の実現に向けた取組みなど、時代が求める施策が効率的かつ効果的に展開されたことが認められる。子育て・高齢者サービス充実に向けた取組みも、目標達成に向けてそれぞれの事業が着実に実施されており、男女共同参画社会の実現に向け前進していると言える。各事業の情報発信については、目的とするターゲット層に届きやすくする工夫がされているものの、発信者側から受け手側に情報を積極的に送り届けるプッシュ型周知の強化が望まれる。特に、若年層や子育て世代などに対しては SNS を通じた情報提供など、生活様式に合わせた情報伝達手段の活用を推進していただきたい。

また、様々な悩みや不安を抱える人からの相談には、関係機関と連携を図ることにより専門性を補完し、課題解決を可能にしている。各種支援につなぐ仕組みが強化され、安心して暮らせる環境づくりの促進に大きな役割を果たしていると評価する。

計画の成果を測定するための指標項目において、「審議会等附属機関の女性委員登用割合」については横ばいで推移しており、第5次男女共同参画計画の目標値である40%までの乖離が大きいと、なお一層女性登用率向上に取り組んでいただきたい。また、「市役所における管理職に占める女性職員の割合（課長職・係長職以上）」については、増加傾向にあり一定の前進と評価できる。女性管理職の増加は、後進の女性職員にとって具体的なキャリアパスを見えやすくし、成長意欲の向上につながると期待する。「市役所の男性職員の育児休業取得率」については、大幅に上昇し目標を達成した。市の取組みが社会全体の風土醸成をリードしていると高く評価する。育児休業は、取得すること自体を目的とするのではなく、育児に主体的に関わるための重要な一歩となるよう期待する。

以上、個別の施策の評価結果および指標項目の達成度を踏まえ、第5次男女共同参画計画は一部課題を残しながらも進捗していると認めることができる。

2 評価結果を踏まえた今後の対応

第5次男女共同参画計画は一部課題を残しながらも概ね順調に進捗していると評価されたが、本計画に登載された施策の多くは継続事業として、さらに発展させていく必要がある。

今後それぞれの施策に付された審議会の意見を踏まえ、施策担当課が事業の内容や手法の見直しを積極的に行うとともに、男女共同参画の視点をさらに深め、定着していくよう継続的に工夫を重ねていく必要がある。

資料

(1) 評価作業の日程

日程	内容
令和7年5月9日	各施策担当課へ令和6年度終了段階の評価を依頼
令和7年8月25日	令和7年度第1回進行管理部会 令和6年度各施策の評価作業
令和7年9月22日	令和7年度第2回進行管理部会 令和6年度各施策の評価作業
令和7年9月29日	令和7年度第3回進行管理部会 令和6年度各施策の評価作業
令和7年10月27日	令和7年度第4回進行管理部会 令和6年度各施策の評価作業
令和7年11月10日	令和7年度第5回進行管理部会 令和6年度各施策の評価作業及び評価報告書（案）の作成
令和8年2月13日	令和7年度第2回男女共同参画審議会 令和6年度の計画推進状況評価について

(2) 高崎市男女共同参画審議会計画部会委員名簿

委員区分	氏名	構成区分
部会長	竹内 由利子	学識経験者
委員	新井 セラ	公募市民
委員	織茂 真美	公募市民
委員	吉澤 進	団体等代表

2024(R6) 年度 高崎市第5次男女共同参画計画進行管理シート

担当課名	人権男女共同参画課	担当者名	〇〇	内線等	〇〇〇〇
------	-----------	------	----	-----	------

基本目標	I	男女平等の意識づくり	担当者名と内線等を記入してください。 計画終了時に達成可能な目標値で、数値または状態を設定してください。 ・数値(〇人、〇回、〇件、〇%、〇割など) ・状態(増加、減少、現状維持、継続実施など)
基本方針	1	男女平等・男女共同参画の意識づくり	
基本課題	(1)	男女平等・男女共同参画の意識づくりのための啓発の展開	
施策	1	意識啓発のためのセミナーなど	
施策内容	男女平等活動	令和4年度の実績値を記入してください。	

施策の成果をはかる指標	基準値	目標値	実績値					
			2022(令和4)年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
セミナー開催件数	9件	継続実施	8件					
参加者満足度	82.8%	90%	88.9%					

事業終了翌年度5月に、記入をお願いします

2022(令和4年度)の施策の実施状況

- セミナーなどの開催件数 : 11件(延べ21回)
- 性別の参加者数(男性の参加割合) : 男性 197名、女性 862名、男性の参加割合 18.6%
- センター事業の参加者満足度 : 平均満足度 84.1%

令和4年度の施策の実施状況を記入してください。

施策の実施状況等

〈実施状況〉

○セミナー開催件数 9件

- ・子育て中の方のたしなみ講座(1/20、男性1人、女性22人、計23人) 満足度85.9%
- ・男女共同参画推進映画会「リトル・マエストロ」(男性39人、女性122人、計161人) 満足度84.1%
- ・女性のための起業講座(2/7、女性13人) 満足度87.3%
- ・住まいがミチガエル☆年未入居し対策講座(11/29、男性1人、女性22人、計23人) 満足度85.9%
- ・男性のための子育て(家事)講座(父親17人、男児10人、女兒13人、計40人) 満足度90.3%
- ・男女共同参画推進映画会「リトル・マエストロ」(男性39人、女性122人、計161人) 満足度84.1%
- ・女性のための護身術講座(2/7、女性13人) 満足度87.3%

○性別参加者数

- ・男性272人、女性675人
- ・男性参加率 28.8%

○センター事業参加者満足度

- ・平均満足度 82.8%

事業終了翌年度5月に、記入をお願いします

〈実施にあたり留意した点〉

- ・男性を含めより広範な市民が参加できるよう、テーマや開催日時等について検討した。
- ・男女共同参画に関する様々な課題の解決に有効なノウハウを有する機関や団体等との連携・協働により、効率的かつ効果的な事業展開に努めた。

施策担当課による自己評価とその理由		施策担当課による自己評価			概ね順調である
<p>評価理由</p> <p>「男女共同参画」が参加しやすい。セルをクリックすると▼が出てきます。リストから評価を選んでください。</p> <p>施策の実施により得られた成果や効果、課題や問題点など、自己評価の理由を入力してください。</p> <p>これに伴い、セミナーが参加しやすい。これに伴い、セミナーが参加しやすい。これに伴い、セミナーが参加しやすい。</p> <p>度比で10%増となった。前年度に引続き開催した父親と子どもを対象の「パパのための料理教室」では、即日定員に達し、満足度も高く好評だった。</p> <p>これまで低迷していた男性の参加者数が増加した一方で、全体の満足度は若干減少したため、内容や開催日時等を含む改善すべき点を研究する必要があることから、「概ね順調である」と自己評価する。</p>					
〈参考〉 自己評価の推移	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	概ね順調である	事業終了翌年度5月に、記入のお願いをします			

(* 施策担当課による評価結果と異なる時入力)

審議会による施策の評価結果とコメント		審議会による評価結果*			
審議会のコメント					
〈参考〉 審議会評価の推移	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	概ね順調である				

(施策の実施状況等 追加記入欄)

基本目標	施策	担当課	担当課の自己評価	自己評価の理由	審議会の評価(案)	審議会のコメント(案) *特筆すべき点があるときのみ記入してあります
I 男女平等の意識づくり	1 意識啓発のためのセミナーなどの展開	人権男女共同参画課	概ね順調である	美文字レッスンをソシアスと産業創造館の2会場での開催や、ライフプランセミナーを世代別で開催するなどバラエティに富んだ講座を行うことができた。また、新規講座として男性の家事参画を目的とした講座(パパと子どものお片付け講座)ができたことから「概ね順調である」と評価する。	概ね順調である	各世代のニーズに合わせたセミナーの開催ができています。
	2 広報紙などによる情報の提供	人権男女共同参画課	概ね順調である	本市の男女共同参画施策の背骨となる第5次男女共同参画計画を基に、事業の紹介や、女性に対する暴力をなくす運動等のさらなる浸透のため、各種媒体での周知を図ることができた。また、SNSでの講座の周知やWeb申込みと取り入れ、若年層への情報提供及び啓発を図れたことから、「概ね順調である」と評価する。	概ね順調である	HPやSNSでの発信は届いている実感がある。リーフレット類を配布する場合は、必ず持ち帰ってもらえるよう更にひと工夫が必要と考える。
	3 市の刊行物における表現の配慮	人権男女共同参画課	概ね順調である	市の刊行物等の表現について、各職員に対して固定的な性別役割分担意識を助長する表現に注意し、多様な表現に努めるよう周知を図っている。また、市民に向けてホームページで公開している。	概ね順調である	募集チラシに載せるイラストを工夫することで、男性も女性もセミナー等に参加しやすくなる実感がある。
	4 事業所に対する雇用の均等や待遇の確保、ハラスメント防止等の促進	人権男女共同参画課	概ね順調である	男女共に働きやすい職場環境や風土を構築していくため、事業所向けの研修や広報誌による周知で意識啓発を図れたことから、「概ね順調である」と評価する。	概ね順調である	働き方を変えていくにはロールモデルの可視化が大事。今後も好事例を広く紹介していただくよう期待する。
	5 市職員に対する意識啓発のための研修の実施	職員課	概ね順調である	集合研修の実施回数は6回であり、概ね予定通り実施することができた。また、職員の関心や理解度についても、概ね順調となっている。令和6年度は新たな専門研修を実施したことや、個別研修で女性活躍推進に関する研修に若手女性職員2名を参加させることで、男女共同参画や女性活躍推進の意識の醸成に努めた。	概ね順調である	
		人権男女共同参画課	概ね順調である	職員に向け、職場全体でワークライフバランスを理解し、女性がリーダーを目指したくなる風通しの良い職場環境を作る方法について学ぶ機会を設け、94%の参加者から理解が深まったと意見があったことから「概ね順調である」と評価する。	概ね順調である	
	6 性の多様性に関する理解の促進	人権男女共同参画課	概ね順調である	引き続き、高校図書館と連携し、生徒に対しての情報発信及び意識啓発を実施した。また、出前講座「LGBTってなんだろう」は、昨年度の6件から減少したものの、啓発活動が行うことができたことから「概ね順調である」と評価する。	概ね順調である	身近な人のひと言で追い込まれる子もいれば救われる子もいるため、マイノリティーの命を守る研修を継続していただきたい。
7 幼稚園・小学校・中学校の教職員への意識啓発	学校教育課	概ね順調である	「高崎市人権教育講演会」は、新型コロナウイルス移行に伴い参加人数を制限せずに実施することができた。また、「人権教育全体計画」は全小中学校で作成されており、毎年見直しが行われていることや、学校評価における「温かい人間関係づくり」の評価項目を「A」とした学校は84%であり、各学校において温かな学級経営やいじめのない環境づくりが推進されていることから、「概ね順調である」と評価した。	概ね順調である	「温かい人間関係づくり」の評価項目「A」の学校が減少している点については、翌年度以降も注視していきたい。	
	教育センター	概ね順調である	的確な配布対象に継続的に配布することで、その後の各学校における人権教育の推進に役立ったものと考えられるので「概ね順調である」と自己評価したい。	概ね順調である	参加者が研修内容を各学校に持ち帰り、周知され理解が深まる事を期待する。	
	人権男女共同参画課	概ね順調である	啓発資料の配布のほか、研修等を通じて教職員から児童・生徒へ反映できる事業に取り組めたことから、「概ね順調である」と評価する。	概ね順調である		

基本目標	施策	担当課	担当課の自己評価	自己評価の理由	審議会の評価(案)	審議会のコメント(案) *特筆すべき点があるときのみ記入してあります
	8 保育関係者への意識啓発	保育課	概ね順調である	意識啓発について、問題意識を持って取り組むようになった。情報交換だけでなく、正しい理解を深める課題についても努力していきたい。	概ね順調である	所長会議での情報共有に留まらず、専門性がある講師からの話を聞く機会を作ることが重要と考える。
		人権男女共同参画課	概ね順調である	引き続き保育課と連携し、家事育児や多様性など多岐にわたるテーマを取り上げた絵本の紹介を実施している。保育及び幼児教育への意識啓発につなげられていることから、「概ね順調である」と評価する。	概ね順調である	
	9 男女混合名簿の継続	学校教育課	順調である	男女混合名簿を採用している学校園は100%であることから「順調である」と評価した。	順調である	
	10 児童生徒に対する啓発	人権男女共同参画課	概ね順調である	市立高校との協力の下、生徒の年齢に応じたテーマを扱い意識啓発の向上を図ることができた。教員にも資料提供をすることにより、継続した理解の促進が期待できるため「概ね順調である」と評価する。	順調である	市立高校協力の下、生徒の年齢に応じたテーマにより意識啓発ができ、教員にも資料提供することができた。また、他部署の専門職との連携により、中高生向け図書を紹介資料が作成できたことは非常に意義のあることと思われる。
	11 審議会等附属機関への女性委員の登用の推進	人権男女共同参画課	不十分である	全体値が減少となった。休止中だった男性ばかりの団体が復活したことが主な原因。目標値の達成には平均年2%の増加が必要となるため、引き続き、職務指定など資格要件についての柔軟な対応や、公募委員枠への女性登用の働きかけに努めていく。	不十分である	審議会等への女性登用率が減少し、女性委員ゼロの審議会も増加している。政策方針決定には男女双方の視点が入る事が重要であるため、女性委員登用への働きかけを強化するよう期待する。
	12 農業委員に占める女性委員の増加の推進	農業委員会事務局	概ね順調である	現在、農業委員に占める女性委員は5名となっており、令和5年7月20日の改選前の4名よりも1名増加となっている。関係機関・関係団体との連携も進捗しているため「概ね順調である」と自己評価したい。今後も機会を見つけては、農業委員の女性委員の増加を推進していくこととする。	概ね順調である	令和8年の農業委員改選に向け、関係機関・関係団体との連携を図り女性委員が増加するよう積極的に推し進めて欲しい。
	13 事業所における女性の人材育成と登用の促進	人権男女共同参画課	概ね順調である	ホームページ関連リンクでの情報提供のほか、広報紙で事業所への意識啓発を推進した。	概ね順調である	
	14 市役所における男女の偏らない職員採用と職域の拡大	職員課	概ね順調である	実績値が目標値に達しているため、「概ね順調である」と評価した。	順調である	女性職員の割合が増加し、女性の配置のない課の割合が大幅に減少したことを評価する。
	15 市役所における女性の管理職登用の推進	職員課	概ね順調である	基準年度に比べ、管理職に占める女性職員の割合が増加の傾向を示していることから、「概ね順調である」と評価した。	概ね順調である	
	16 創業支援セミナーの実施及び起業に関する情報の提供	産業政策課	順調である	創業支援セミナーは平日の夜と週末の昼に実施し、受講の選択肢を増やし参加しやすくしたことにより、多くの方に参加していただいた。これらは女性にも参加しやすいことから、参加者の約半分が女性となってきている。女性創業支援セミナーは、女性の講師を招き、異性のいない場で創業に対する悩みや本音を話し合える場になっている。よって本施策は、これまでに引き続き、女性の創業に対する機運を高め、活躍の促進に寄与できていると考えている。	順調である	受講者が参加しやすい開催日を追加する等、細やかな工夫を凝らしている。受講者の年齢層が幅広い上、満足度の高いセミナーになっている点を高く評価する。
人権男女共同参画課		概ね順調である	今年度も創業セミナーを2回講座として開催し、ネット環境や機材を充実したこともあり参加者の満足度も高かった。ホームページの活用による情報提供も継続しているため「概ね順調である」と評価する。	概ね順調である		

基本目標	施策	担当課	担当課の自己評価	自己評価の理由	審議会の評価(案)	審議会のコメント(案) *特筆すべき点があるときのみに記入してあります
	17 創業者のための融資制度の周知	商工振興課	概ね順調である	融資を受けて創業する方に、「創業者融資保証料補助及び利子補給制度」は浸透しており、低金利の融資制度と補助制度の相乗効果により、市内での創業を後押しし、ビジネス活性化に寄与している。 実績数は増加しており、女性の割合は2割程度を維持している。制度の周知、浸透は図れており「概ね順調である」と自己評価する。	概ね順調である	
	18 農業経営における家族経営協定締結の促進	農業委員会事務局	概ね順調である	協定締結については、女性が意欲を持って働くことのできる環境整備が図られ、かつ、社会活動の参加機会の増加に寄与していると考えられるため、「概ね順調である」と評価した。	概ね順調である	
	19 男性の家事・育児・介護への参画意識の醸成	人権男女共同参画課	概ね順調である	働き方が多様化している中でワーク・ライフ・バランスの推進とともに、家事、育児、介護などに積極的に関わる意識の醸成のため様々な媒体を利用し周知したことから、「概ね順調である」と評価する。	概ね順調である	育児への参画意識を高めるための施策は充実してきたが、介護に関するものも実施していただくよう期待する。
	20 男性の生活力・自活力を高めるための講座の開催	人権男女共同参画課	概ね順調である	料理講座は、参加者の満足度も高く、継続して効果的な事業を実施できた。今年度は新たに「パパと子どものお片付け講座」を開催した。座学だけでなく、服の畳み方や引き出しの片づけ方などを実習形式で行った。「はじめての簡単一人暮らしご飯」とは違う新たな男性の生活力・自活力を高めるための講座が開催できたことから「概ね順調である」と評価する。	概ね順調である	新たな視点での家事講座が開催できている。
		中央公民館	概ね順調である	家事や育児等に積極的に関わるためのきっかけとなり役立つような講座を引き続き行っており、男性対象の講座や親子で参加できる講座など多様な講座を行うことで、参加者をより広げられるよう取り組んでいる。また、各講座とも、参加者からは概ね良好な評価を受けていることから「概ね順調である」と自己評価する。	概ね順調である	家事・育児への参画意識を高める講座は、高齢男性の参加も安定的に推移しており、啓発が促進されている。
		健康課	概ね順調である	定員数の応募があった。メニュー選定やスタッフ配置などを工夫し、料理経験のない人にも実習しやすい講座とした。参加者からは満足度も高く好評だった。	概ね順調である	参加者が達成感を感じられる難易度のメニューを選定し、家庭で再び料理したくなる工夫がされている。
	21 女性のワーク・ライフ・バランスを推進する講座の開催	人権男女共同参画課	概ね順調である	仕事相談会は県社会福祉協議会との共催で開催しており、県社協のInstagramや、求人ジャーナルに掲載し周知を行った。創業セミナー、女性の健康講座も好評だったことから「概ね順調である」と評価する。	概ね順調である	女性の活躍推進を目指す上で、ヘルスケアについては非常に重要であるため、今後も健康講座の継続的な開催を期待する。
	22 マタニティクラスの開催	健康課	概ね順調である	プレパママ教室の夫参加率は95%以上であり、「施策の成果をはかる指標」の実績値が目標に向けて進展している。マタニティレッスンの夫参加率は、プレパママ教室に比較して低率ではあるが昨年度よりも上昇しており、全体参加組数も上昇しているため。	概ね順調である	夫・パートナーの参加率が増加しており、子育ての共有・共感が図れている。動画配信についても更なる充実を期待する。
	23 育児・介護休業制度の周知と情報の提供	人権男女共同参画課	概ね順調である	ホームページやSNSの有効活用に加え、広報誌VAMOSや研修の場を活用し、様々なツールにより情報を浸透させている。広報誌は、市内中小企業を取材し、創意工夫により働きやすい環境を整えている事例を届けることができた。以上のことから「概ね順調である」と評価する。	概ね順調である	
		産業政策課	概ね順調である	市ホームページなど、市民が身近で手軽に利用できる情報媒体を活用することにより、広く市民に情報提供を行うことができた。	概ね順調である	広く市民に届くような周知方法の検討を具体的に進めていただきたい。

基本目標	施策	担当課	担当課の自己評価	自己評価の理由	審議会の評価(案)	審議会のコメント(案) *特筆すべき点があるときのみ記入してあります
Ⅱ 男女共同参画による社会づくり	24 育児・介護休業制度の導入と、取得しやすい環境づくりの促進	人権男女共同参画課	概ね順調である	研修会を実施することで、各事業所での働きやすい職場環境づくりに係る啓発を直接的に行うことができるとともに、市ホームページで関連記事のリンク先を設定することにより、情報提供の充実を図っている。以上のことから「概ね順調である」と評価する。	概ね順調である	ブッシュ型での周知を進めていただきたい。
		産業政策課	概ね順調である	ハローワークと連携することで、具体的な就労内容などの情報を提供することが可能となり、就労の促進につなげることができた。	概ね順調である	周知方法の工夫、関係機関との連携によりセミナー参加者、採用に結びついた人数共に増加したことを評価する。
	25 長時間労働の是正と男性の育児休業取得の推進	人権男女共同参画課	概ね順調である	研修会を実施することで、各事業所での働きやすい職場環境づくりに係る啓発を直接的に行うことができたため「概ね順調」と評価する。	概ね順調である	
		産業政策課	概ね順調である	市ホームページなど、市民が身近で手軽に利用できる情報媒体を活用することにより、広く市民に情報提供を行うことができた。	概ね順調である	
	26 市役所職員の育児・介護に関する休暇及び休業取得の推進	職員課	概ね順調である	基準年度に比べ、育児休業の取得率が増加傾向にあるため、「概ね順調である」と評価した。	概ね順調である	離職予防を目的とした介護リテラシーを高める取組みにも力を入れていただきたい。
	27 多様な働き方に関する啓発	人権男女共同参画課	概ね順調である	広報誌1面に女性活躍推進の記事を掲載し、市内に周知を行った。多様な働き方に関する周知及び啓発活動について、各種情報媒体を活用し情報提供を図った。市民・学生への講義では、働く上での現代の男女を取り巻く状況を伝えることが出来た。以上の事から「概ね順調である」と評価する。	概ね順調である	
	28 市民就業相談の実施	産業政策課	概ね順調である	年間を通しての相談件数は少ないが、相手の主訴を丁寧に聞き取りし、問題解決に向け専門機関への案内を的確に行えた。	概ね順調である	就業における相談を、まず市役所で受けていただける体制は大変心強い。
	29 就職支援セミナーの実施	人権男女共同参画課	概ね順調である	例年実施の仕事相談会に加え、再就職に役に立つスキルを身につける講座を実施したことから「概ね順調である」と評価する。	概ね順調である	セミナーは、時代の流れをつかみ必要とされる内容にブラッシュアップしていくよう心掛けていただきたい。
		産業政策課	概ね順調である	ハローワークと連携することで、具体的な就労内容などの情報を提供することが可能となり、就労の促進につなげることができた。	概ね順調である	
	30 多様な保育サービスの提供	保育課	概ね順調である	延長保育の実施設数、全体としての人数はやや減少したものの、昨年度から継続して多様な保育サービスの提供を行っており、保護者が働きやすい環境づくりができていると考えられるため、概ね順調であると評価した。	概ね順調である	少子化に伴い利用者数は減少しているものの、仕事と家庭の両立に果たす役割は大きく、継続を期待する。
31 ファミリー・サポート・センター事業の推進	保育課	概ね順調である	まかせて会員数に増加傾向は見られないが、活動件数は伸びているので、事業の周知は出来ていると思われる。今後も、会員の獲得に努力し、周知の徹底を図っていききたい。	概ね順調である	事業周知にSNSを導入し効果を発揮していることを評価する。	

基本目標	施策	担当課	担当課の自己評価	自己評価の理由	審議会の評価(案)	審議会のコメント(案) *特筆すべき点があるときのみ記入してあります
	32 子育てに関する情報提供や相談・支援体制の充実	こども家庭課	概ね順調である	子育てに関する情報提供については、たかさき子育て応援情報サイト「ちゃいたか」などを活用し発信しており、子育てに対する不安や悩みを軽減、解消するとともに、子どもを生き育てやすい環境の整備を進めていることから、概ね順調に事業が行われていると考える。ただし、インターネット環境が不十分な方に対しても、情報を提供できるように今後も検討が必要である。また、「子育てなんでもセンター」の運営については、コロナ禍で一時来所者数が減少したものの、これまでの利用者数の推移からセンターの担う役割は拡大傾向と考える。さらに、子育てSOSサービス事業などとも連携し、子育てに関する相談や支援体制について、さらなる充実を図って行きたいと考えている。	概ね順調である	ちゃいたかのサイト訪問者数減に関して、プッシュ型の情報発信を検討していただきたい。
	33 ショートステイ・トワイライトステイ事業の実施	こども発達支援課	順調である	ワンオペ育児による育児疲れや精神的に不安定な保護者のレスパイト目的での利用が増えてきている中、受入れ施設と調整しながら対応している。	順調である	育児に疲れ、不安を抱える方に与える効果は大きいと感じる。
	34 放課後児童クラブと児童館の充実	こども家庭課/放課後児童クラブ支援課	概ね順調である	放課後児童クラブについては、年々増加する需要に対応するため、常勤支援員の確保に係る委託料の増額等を実施するとともに、人口増加地域など、ニーズ量が増加している地域については、優先的に施設の拡充を実施することとした。今後も利用児童数の増減や施設面、人員面等、各クラブの状況や課題を踏まえ、対応していきたい。児童館・児童センターについては、コロナ禍を経て利用者数が年々回復傾向にあることから、引き続き児童の心身の発達向上を図る地域の子育ての活動拠点として安心して利用していただけるよう運営を工夫しながら事業を継続していきたい。	概ね順調である	放課後児童クラブ入所申込時に必要な就労証明について、保育園入所申込の様式と統一する等、小学生と保育園生を抱える家庭へ手続きの簡素化を検討していただきたい。
	35 介護サービスの充実	長寿社会課	概ね順調である	家族や介護者が、急な仕事や用事等で介護ができなくなった場合や、家族や介護者の介護負担の軽減、介護が原因による離職の防止を目的に市民が気軽に利用できるよう、新たなチラシを作成し各関係者に配布したり、ラジオ高崎等で周知を行った。このような全国でも類を見ない高崎市独自の取り組みで、介護に携わる家族を支援することで、在宅生活が安心して送れるよう支援している。2024年度は訪問利用者数が大幅に増加したが、宿泊利用者数は昨年と同様であった。今後も必要に応じて、高齢者あんしんセンターとの連携を図りながら、本サービスの利用者を適切な介護サービスや他の支援策に繋げる必要があるため、概ね順調と自己評価する。	概ね順調である	介護者に向け、更に多様な情報発信の仕組みがあると良いと感じる。
		介護保険課	順調である	申請件数は143件と例年並みであり、既存の利用者127名が施設入所等により利用を取りやめているが、実績台数は昨年度より増加している。本システムについては高崎警察署及び高崎北警察署と協定を結んでおり、警察が行方不明となった高齢者を保護した際に家族に助言して早期に申請するケースが多くみられるため、増加につながった一因であると考えられる。	順調である	警察と連携することによりサービス利用が広がり、介護者が安心して働き続けられる環境づくりに繋がっている。

基本目標	施策	担当課	担当課の自己評価	自己評価の理由	審議会の評価(案)	審議会のコメント(案) *特筆すべき点があるときのみ記入してあります
	36 高齢者サービスに関する情報提供や相談体制の充実	長寿社会課	順調である	積極的な訪問活動とホームページ、周知チラシ、あんしんセンターたよりの発行等による周知を実施し、高齢者の実態把握機能を充実させるとともに、地域の高齢者に適切な支援を提供するために関係機関との連携を図り、高齢者に寄り添った支援を行った。 また、高齢者に関する困難事例等の課題解決に向け、課内で各センターごとの地区担当制を設け、センターからの相談に対応することや、高齢者あんしんセンター全体会議を定期的開催することで市とセンターの連携強化や高齢者あんしんセンター相互の連携を図ることができたため、「順調である」と自己評価する。	順調である	
		介護保険課	後退している	ホームページの閲覧数については、R5年度よりも閲覧数が減少してしまった。 ページの内容に関して工夫を凝らし、市民が見やすく探しやすいホームページ作りについて検討を重ねていきたい。	概ね順調である	HP閲覧数は減少しているものの、様々な媒体を通じ継続して情報提供を行っている。 新たな高齢者なんでも相談センターの役割も大きいと期待する。
	37 地域活動等における男女共同参画の促進	人権男女共同参画課	概ね順調である	実績値は昨年度と同数となった。女性人数の割合は極めて低いため、地域における啓発活動の継続的な取組が求められる。	概ね順調である	地域の役員は、深刻な人手不足の現状があるが、性別を問わず時代に合った柔軟でしなやかな発想力のある人材の起用を期待する。
	38 PTA運営における男女共同参画の促進	社会教育課	概ね順調である	高崎市PTA連合会の本部役員は女性役員が3名退任したため、次期役員の選出にあたって、推薦委員会に対して男女の比率がなるべく同じになるように努めるよう依頼したが、女性候補者の推薦に至らず女性役員の数大幅に減少してしまった。役員の負担軽減を進め、女性役員の推薦につなげていく必要がある。 各単位PTAの役員構成については、男性本部役員が目標値を下回っているが女性会長の数は大幅に増加した。引き続き市PTA連合会を通じた働きかけを続けていく必要がある。	概ね順調である	課題解決や協力体制の構築のためには多様な視点が重要になるため、PTA役員の男女比が同じになるよう継続的な働きかけを期待する。
39 学校評議員等の男女共同参画の促進	学校教育課/社会教育課	概ね順調である	各学校園とも、多様な視点から地域に信頼される学校づくりに向けた意見交換ができるよう、学校運営協議会委員や評議員を選出し、学校と地域が共通の目標に向かって日々の教育活動を行っている。学校運営協議会の運営は順調に進んでいるが、女性の比率が昨年度よりも増えているものの目標値に届いていないので、今後も様々な立場の委員の選出を働きかけていく必要がある。	概ね順調である	様々な立場からの活発な意見により、開かれた学校運営に向けた新たな発見や気づきにつながるため、多様な人材登用への働きかけを続けていきたい。	
40 市民活動への支援とネットワークづくりの促進	人権男女共同参画課	概ね順調である	会員の高齢化は顕著であるが団体は継続して活動しており、連携及び協働を図れていることから「概ね順調である」と自己評価する。	概ね順調である		
41 人権侵害の正しい理解や被害防止のためのセミナーなどの実施	人権男女共同参画課	概ね順調である	最新の犯罪手口や傾向など、女性が被害に遭わないための対策や、不審者に手を捕まれた時の振りほどき方等被害に遭ってしまった場合の対応など、護身術を展開できたため、「概ね順調である」と評価する。	概ね順調である	被害者が増加する一方、講座の受講等により犯罪対策の知識を学ぼうとする人は少ない。多方面に広く周知し啓発に努めていきたい。	
42 女性に対する暴力の防止のための啓発活動の推進	人権男女共同参画課	概ね順調である	被害実態の周知、被害防止のための啓発を行うとともに、各種情報媒体を活用して相談窓口の周知を行った。また、全市回覧の広報紙や「女性に対する暴力をなくす運動」週間にあわせ、DV電話相談の記事を掲載し情報提供を図った。	概ね順調である	身体的暴力だけでなく、心を傷つけたり強い束縛で恐怖心を与えることも暴力だということに気づいてもらえるような、丁寧な周知を期待したい。	

基本目標	施策	担当課	担当課の自己評価	自己評価の理由	審議会の評価(案)	審議会のコメント(案) *特筆すべき点があるときのみに記入してあります
Ⅲ 安心して暮らせる環境づくり	43 若年層を対象とした交際相手からの暴力の予防啓発	人権男女共同参画課	概ね順調である	市立高校図書室でのリーフレット設置、20歳の集いにおいてリーフレットを配布したことにより、若年層への直接的な働きかけに取り組んだことから、「概ね順調である」と評価する。	概ね順調である	リーフレット類の配架場所については、人目に触れず情報を入手できる方法が有効な場合もあるので、ぜひ検討していただきたい。
	44 セクシュアル・ハラスメント防止対策の実施	人権男女共同参画課	概ね順調である	広報誌やホームページ等の情報媒体を活用し、継続して市民の理解と協力を促進するとともに、被害の潜在化の防止を図ったことから「概ね順調である」と評価する。	概ね順調である	セクハラは加害者が無意識であったり無自覚の場合もあるため、気づきにつながる周知や啓発に力を入れて欲しい。
	45 相談窓口の周知と被害者の早期発見	人権男女共同参画課	順調である	DVの早期発見を目指し、高崎市内医療機関や高崎市内公共施設へのDV相談窓口周知カードとDV支援パンフレットの配布を継続している。また、市役所の窓口職員や母子保健を担当している保健センター職員に対し、行政機関が関わっている市民の中に、自分がDVを受けていることを認知できていない被害者が多くいるということを知ってもらい、知ってもらうことでDV被害の発見のきっかけとなるという周知を図れたことから、「順調である」と評価する。	順調である	公的機関や医療機関とも良く連携し周知ができています。
	46 相談体制の充実と相談員の資質の向上	人権男女共同参画課	順調である	他の自治体及び関係機関の職員との事例検討や情報交換等を基に、継続して相談員等のスキルアップにつながっている。	順調である	相談員のスキルアップも必要だが、メンタルケアにも努めて欲しい。
	47 被害者の安全確保と自立のための支援の実施	人権男女共同参画課	順調である	庁内外の関係機関と連携し、相談者に寄り添いながら、解決につながる有効な情報提供ができた。	順調である	
	48 関係機関・団体との連携強化	人権男女共同参画課	順調である	庁内関係職員でのDV被害者の自立支援のための支援措置に係る調査一覧や新しく施行された法律についての情報を共有し、被害者支援の連携を図れた。	順調である	被害者を各種支援につなぐ仕組みが強化され、安心して相談できる体制が整っている。
	49 男女共同参画相談の実施	人権男女共同参画課	概ね順調である	相談者の気持ちに寄り添い、傾聴しながら問題点の整理を行い、必要な情報提供を行うなど問題解決に向けた支援を行っている。問題が複雑化する中で関係機関との連携を図りながらの支援に取り組めたことから「概ね順調である」と評価する。	概ね順調である	悩みを言語化することが難しい相談者も多い中、丁寧な傾聴に努めていただいていることを評価する。
	50 家庭児童相談事業の実施	こども発達支援課	順調である	相談件数も増えており、多種多様な相談に学校教育課、保育課、健康課、人権男女共同参画課、社会福祉課など関係各課や庁外関係機関と連携しながら迅速に対応している。	順調である	
	51 ひとり親家庭への支援の実施	こども家庭課	概ね順調である	年度ごとに訓練受講者数の差異はあるものの、市による周知のほか、養成機関等の広報等によっても当該給付制度の認知度は高まっていると思われることから、概ね有効に制度活用が図れていると考えたため。	概ね順調である	ひとり親の資格取得に向けた支援により就労の機会が増え、生活の安定に繋がると期待する。
52 生活困窮者自立相談支援事業の実施	社会福祉課	概ね順調である	相談者に対する的確な支援が実施できているため「概ね順調である」との自己評価をした。	概ね順調である		

基本目標	施策	担当課	担当課の自己評価	自己評価の理由	審議会の評価(案)	審議会のコメント(案) *特筆すべき点があるときのみ記入してあります
	53 男女共同参画の視点を取り入れた防災対策の推進	防災安全2課	概ね順調である	近年の災害は、その頻度と規模が増大しており、多くの地域で甚大な被害をもたらしています。こうしたことから、市民の防災意識は年々高まっており、防災力向上のために地域や教育機関からの出前講座の依頼につながっていると考えられます。講座では女性の参加者も多数参加しており、避難所生活における男女のニーズの違いや男女双方に配慮した運営や体制づくりの必要性について、高い関心度を持っており、効果的に推進されているものと感じております。	順調である	出前講座による継続的な啓発に加え、避難所運営マニュアルの女性編を新たに作成するなど積極的な取組みを高く評価する。幅広い周知にも力を入れていただくよう期待する。
	54 地域防災活動における女性の参画の促進	防災安全2課	概ね順調である	女性防災士資格取得者は全体で59人と増加しており、災害時における多様な視点や対応力が求められる中で、女性の参画は重要なポイントとなってきます。引き続き地域防災組織等への女性の参画を働きかけていきます。	概ね順調である	

基本目標ごとの進捗状況

基本目標Ⅰ	延べ事業数 14	順調である	2	14 100.0%
		概ね順調である	12	
		不十分である	0	
		後退している	0	
基本目標Ⅱ	延べ事業数 39	順調である	5	38 97.4%
		概ね順調である	33	
		不十分である	1	
		後退している	0	
基本目標Ⅲ	延べ事業数 14	順調である	6	14 100.0%
		概ね順調である	8	
		不十分である	0	
		後退している	0	